

## 平成22年度 学校経営の構想

平成22年4月13日

学校名 天名小学校 校長名 保田 秀一 印

記述項目	記 述 内 容
1 めざす学校像	<p>「自分がすき ともだちがすき 学校がすき 地域がすきな 天名っ子」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目指す児童像           <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を大切にし、自分らしさをありのままに表現できる子</li> <li>・ひと・もの・ことに自ら進んでかかわろうとする子</li> <li>・仲間とともにくらしを豊かにきりひらく子</li> </ul> </li> <li>○目指す教職員像           <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを中心とした教育を実践し、常に向上心を持って研修に取り組む教職員</li> <li>・地域との関わりを大切にした教育活動を実践する教職員</li> </ul> </li> </ul>
2 経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかる授業・楽しい授業を創造し、児童一人一人に確かな学力を育成する。</li> <li>○児童一人ひとりを大切にしたい仲間づくり、基本的な生活習慣を身につける取り組みを進める。</li> <li>○家庭・地域と共に教育活動を展開し、信頼される開かれた学校づくりに努める。</li> <li>○自然に恵まれた協力的な地域の特性を生かし、米作り・省エネ活動等の特色ある学校づくりを推進する。</li> </ul>
3 達成方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価を学校運営に生かす。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人ひとりが学校運営を担っているという使命感と責任感をもった教育活動を実践することにより活性化を図る。</li> <li>・P-D-C-A サイクルに基づく定期的な評価の確認をする。</li> </ul> </li> <li>○基礎的な内容を確実に定着させると共に、確かな学力の育成を図る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝タイム・授業の始めなどを使い、計算・漢字等のドリル学習や読み聞かせに取り組む。</li> <li>・より分かる授業を目指して、T Tや学習ボランティア等を利用したきめ細かな指導を行う。</li> <li>・指導法、指導形態、教材・教具の工夫等の改善をしていくために、授業研究や授業公開を実施する。</li> </ul> </li> <li>○生徒指導の充実を図る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を子どもたちに定着させるための指導に力を入れる。(早寝、早起き、朝ごはん運動等)</li> <li>・チャイムで先生が子どもを迎える体制をつくる。</li> <li>・朝のあいさつ運動を実施する。</li> </ul> </li> <li>○人権感覚の育成を図る。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の児童の人権課題を把握し、自らが課題解決できるように支援する。</li> <li>・自分を大切にすると共に、相手を思いやる態度を育成する。</li> <li>・人権教育に関わる研究授業や研修会を開催する。</li> </ul> </li> <li>○地域との連携を重視した学校運営をする。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者と連携し、調べ学習や取材活動をするために地域へ出かけたり、ゲストティーチャーを招いて、地域の人々の生き方を学んだりして相互交流に努める。</li> <li>・地域活動への参加、一斉下校の指導など、児童の安全安心に向けた取り組みを地域の安全安心パトロール隊とともに強化していきます。</li> <li>・学校だよりや学年通信、連絡帳、家庭訪問などを通して、保護者との信頼関係を深めます。</li> <li>・学校支援本部事業を本格的に運営するため、コーディネーターと学校との連携を密に取り、相互関係を構築する。</li> </ul> </li> <li>○環境教育の一環として省エネ活動に取り組む。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、児童会、省エネ委員会での環境に対する意識付けと啓発活動を進める。</li> <li>・エコキャップ回収を常時活動として取り組み、電気・水道等身の回りの環境にも気配りできる心を育てます。</li> </ul> </li> </ul>